

# 現場で役立つ講習会 盛ん

## 「止血」や「蜂刺され」対応など

1月27日 救急処置法講習会

ちば里山センターと千葉県里山林保全整備推進地域協議会の共催による応急手当の講習会が、1月27日、袖ヶ浦市長浦消防署を会場に行われました。参加者は14名で、里山活動中の怪我や毒虫被害などにいかに速やかに対応するかを中心に、座学その他、三角巾を使った止血や傷の被覆などの実習を行いました。

参加者の感想「まず止血。傷口をしっかりと押さえ圧迫することが基本。また、小さな傷でもしっかりと手当しておくことが大切であると改めて思いました。実際の里山活動に役立てたいと思います。」



写真④=まずは三角巾の扱い方  
長浦消防署の指導員の指導を受ける参加者

## 里山の面積を測量する

千葉県緑化推進委員会主催で測量講習会

里山などの面積を簡単に計測するための測量講習会が、平成 27 年 12 月 17 日千葉県緑化推進拠点施設で行われました。まず、緑化推進委員会の野村常務

理事から、測量の意味やコンパスの使い方など基本事項について講義を受けました。その後グループに分かれ、構内に敷設された杭をたどって測量実習を行いました。



そして記録したデータをもとに図面化し面積を算出しました。

写真⑤=データをもとに作図して面積を計算



写真⑥=コンパスで杭の間隔と方向を計測

## 大径の広葉樹を伐採

ワイヤーやロープで伐倒方向を安全に誘導

12月8日(火)、船橋市鈴身町において、千葉県里山林保全整備推進地域協議会と共催で「広葉樹の安全な伐採」をテーマとして講習会が行われました。

これは、大径の広葉樹を伐採する機会が増え、その安全確保のノウハウ向上を図りたいとの要望に応えるもので、本年度3回目の開催となりました。伐採に取り組んだ広葉樹は直径50cm を超えるものもあり、木村講師の指導のもと、ワイヤーやロープで確保しつつ、受け口、追い口を微調整することで、狙い通りの場所に伐倒する実習に取り組みました。(写真⑦)

